

院内がん登録ニュース

2014. 2. 5 発行 第2号

医事課院内がん登録担当

当院は、2009年4月1日から院内がん登録を開始しております。2009年4月1日から12月31日までの登録件数は、822件です。また、登録開始してからもうすぐ5年となります。そこで、予後調査を実施することになり、262件の住民登録照会を行いました。結果、生死不明者は2件でした。

2009年登録症例の3年生存率と治療前 stage 別症例数(UICC)を以下のとおり作成しましたので報告します。



3年生存率(2009年診断症例)

登録件数;822件

登録期間;2009年4月1日~2009年12月31日

部位	登録患者数		調査対象	死亡	生存	生存率
	総数	不明 ^{*1}				
胃	121	1	120	53	67	55.8%
大腸	170	0	170	48	122	71.8%
肺	67	0	67	45	22	32.8%
肝臓	52	0	52	26	26	50.0%
乳房	99	0	99	10	89	89.9%
前立腺	42	0	42	10	32	76.2%
その他	271	1	270	123	147	54.4%
合計	822	2	820	315	505	61.6%

注※1; 住民登録照会実施後、最終的に所在不明なもの



2009年院内がん登録 治療前 stage 別症例数(UICC)

登録件数;822件

登録期間;2009年4月1日~2009年12月31日

部位・区分	対象数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	
胃	121	0	46	7	11	27	30	
大腸	170	0	26	25	51	23	45	
肺	67	0	9	4	17	26	11	
肝臓	52	0	10	12	11	2	17	
		取扱規約	0	6	12	8	6	20
乳房	99	1	19	29	9	7	34	
前立腺	42	0	0	7	1	6	28	
その他	271	13	25	17	17	25	174	
合計	822	14	135	101	117	116	339	
大腸* 内訳	結腸	112	0	20	15	36	15	26
	直腸	58	0	6	10	15	8	19

2014年1月21日

医事課病歴担当



一口メモ

今回は、厚生労働省が定めた院内がん登録標準登録様式（当院の院内がん登録はこれに基づいて登録しております）の登録項目のうち、診断情報の定義についてご説明いたします。

【当該腫瘍初診日】

当該腫瘍の診断や治療のために、初めて患者が自施設を受診した日。

慢性疾患により、定期的に自施設を受診しており、何らかの検査が行われて、がんが強く疑われたり、がんの診断を受けた場合は、がんの診断がなされた検査を受けた日とする。

症例区分1から3もしくは、診断区分が初発（治療開始前）の場合で診断日2の記載がない場合、生存率計算等の起算日となる。

※ 前がん状態又は疑いで長期にわたりフォローアップしていて、がんが見つかった場合は、がんが見つかった検査日が初診日となる。

例) PSA 高値にて生検施行、悪性所見なし。その後、PSA フォローアップ。定期的に生検を行っていたらがんが発見された。という、場合はがんが発見された生検を行った日が初診日となります。

※ 症例区分1；診断のみの症例

当該病院で当該腫瘍の診断がなされたが、初回治療又は「当該腫瘍を対象とした治療」をしないことなど、初回治療に関する治療方針に基づく治療ないし経過観察の全てが他の医療機関で行われた症例

症例区分2；診断並びに初回治療に関する決定・施行がなされた症例

当該腫瘍の診断と初回治療に関する決定が行われ、その実施が開始された症例。「当該腫瘍を対象とした治療」をしないことの決定、実行も含む。

症例区分3；他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例

他の医療機関でがんの診断が確定され、治療方針の決定・施行のために自施設に来院し、当該腫瘍の初回治療に関する決定が一部でも行われ、その実施が開始された症例

「当該腫瘍を対象とした治療」をしないことの決定、実行も含む。

次号定義のご説明 「診断日2」；自施設診断日

具体的なお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

連絡先 医事課院内がん登録担当 飯村、齋藤 内線 2162